

「出光コレクションに見る 肉筆浮世絵の世界」 (仮)

出光美術館は浮世絵師が描いた一点ものの浮世絵「肉筆浮世絵」を多数所蔵しています。浮世絵は江戸時代を代表する文化で、木版刷りの版画を思い浮かべることが多いですが、浮世絵師がすべてを手がけた「肉筆浮世絵」は、版画に比べてその描写の細かさや色の深みがうかがえます。浮世絵はまた題材に庶民姿を描いたことでも知られます。出光コレクションの肉筆浮世絵から、肉筆の精緻な表現と描かれた江戸時代の人々の生活の姿を感じて下さい。

講師： **河野 元昭氏**（（公財）出光佐三記念美術館・理事、東京大学名誉教授）

日本近世美術の専門家で、『文人画 往還する美』（思文閣出版 2018）、『江戸絵画 京と江戸の美』（思文閣出版 2022）など著書多数。

講演会スケジュール

2025年 4月 12日（土）

午前10時30分～11時30分

（開場10時）

募集人員：先着150名

（定員になり次第締め切らせていただきます）

聴講料：一般 1,200円（入館料込み）

高大生 1,000円（入館料込み）

申込方法：当館受付もしくはお電話でお申し込み下さい

会場：出光美術館（門司）1階 イベントホール

※ 招待券、団体割引、身障者手帳を含む各種優待割引はご利用いただけません。

※ 友の会同伴者優待は適応されません。

※ 高大生は学生証をご提示下さい。



桜下三美人図（部分）勝川春章
江戸時代（18世紀）出光美術館蔵